

「明かしてくれました。宇野さんは、地域の人たちや皆さんの協力を得て、来年以降もこの取り組みを続けていきたいそうです。この取り組みを成功させるためには、私たち一人ひとりがマナーを守り、まことをきれいにするという意識を高めていくことが欠かせませんね。」

きれいなごみステーション を目指して

地域の皆さんが共同で管理することで、きれいに保たれているごみステーション。内外太平町内会には、町内の人たちの協力を得ながら、ごみステーションをきれいに保ち、より気持ち良く過ごせる地域を目指して活動を続けている人がいます。それは、同町内会の清掃委員を務める葛西敏雄さんです。葛西さんが約6年前からずっと続けている活動は、ごみステーションに出されているごみを収集し、日ごとに整理し、その日収集しないごみを改めて正しい収集日に出すというものです。

「各家庭のごみの分別に対する意識は、年々高まっています。ただ、正しい分別方法を知らない人もいますので、そのような人には一声掛けて、正しい分別のアドバイスをしています」と、葛西さんは話します。そんな葛西さんが活動



▲ごみステーションの整理と清掃を行う葛西さん。「今後も地域のために頑張ります」

を始めました。最初は、現在も続けている清掃委員を引き受けたことだそうです。「最初は自発的に引き受けたわけではないんです。ですが、活動を続けるうちに、町内がきれいで気持ち良く過ごせる地域であることの役に立てれば、これほどうれしいことはないと思えるようになりまし」と、少し照れくさそうに話す葛西さん。最後に、「今後も健康でいる限り活動を続けたいですね。その励みになるのは、やっぱり地域の人たちの理解と協力なんです」と教えてくれました。

ごみを正しく分別し、分類ごとの収集日を守ってごみ出しをしなければ、ごみステーションはすぐに汚れてしまいます。多くのごみステーションがきれいに保たれているのは、葛西さんのように地域で熱心に活動を続けている人や、ごみ出しのルールを守っている皆さんの協力のおかげなのです。

マナーワンポイントチェック

【ごみ出し】

まずは、私たち一人ひとりが買い物袋を持参したり、簡易包装の商品を選んだりすることで、ごみを出さない生活を心掛けることが大切です。

出してしまったごみは、「燃やせるごみ」、「燃やせないごみ」、「びん・缶・ペットボトル」、「プラスチック」に分けて中身の見える袋に入れ、それぞれ地区ごとに決められた収集曜日の朝8時30分までに出しましょう。大型ごみは、電話申し込みによる戸別有料収集です。お申し込み・お問い合わせは、大型ごみ収集センター ☎(281)8153 へどうぞ。

なお、タイヤやバッテリーなど処理が困難なものや危険物、リサイクル処理する家電4品目（テレビ・冷蔵庫・洗濯機・エアコン）やパソコンなどは、市では収集・処理していません。詳細は、北清掃事務所 ☎(772)5353 へお問い合わせください。

【空き缶などのポイ捨てや喫煙】

空き缶やペットボトルなどは、必ず分別してごみ箱に捨てましょう。ごみ箱がない屋外などで

は、家に持ち帰る習慣をつけましょう。

また、たばこを吸う人は歩きながらたばこをやめ、灰皿が設置されている喫煙場所で吸いましょう。市では、6月から8月にかけて、市内の主要地点で、歩行喫煙およびポイ捨て防止のための調査と啓発を行っています。



【自転車の駐輪】

自転車は、駐輪場などの決められた場所に止めましょう。また、決められた場所でも、自転車を長期間放置することは、絶対にはやめましょう。

市では、駐輪場の整備や駐輪整理のほか、放置自転車の撤去など、さまざまな自転車対策を進めています。

☆ ☆

このほかにも、守るべきマナーはたくさんあります。私たち一人ひとりが社会の一員であることを自覚し、マナーを守る心をはぐくんでいきたいですね。